

6 本時のねらい
グループ・ディスカッションという話し合い形態において複数の案をまとめるために、どのような質問をすればよいかを考える活動を通して、話し合いの終結を意識した質問をすることを理解して実践することができる。(A「話すこと・聞くこと」E)

7 本時の展開 第四時 (全六時間)

<p>教師の働きかけ</p>	<p>子どもの学習活動</p>	<p>評価規準・手立て</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・前回のグループ・ディスカッションでは、どんな質問をすればいいのか分からないという課題が出ましたね。今日のグループ・ディスカッションでは質問に焦点を当てて考えていきますよ。 ・まずは、前回のグループ・ディスカッションを見てどのような質問ができるか考えましょう。 ・意見の中の方法に着目した考え、意見の利点や問題点に着目した考えができましたね。どちらの立場からの質問かを明らかにして話しましょう。 ・話し合いを深め、結論に導くために、どの立場でも大切にしなければならぬことは何だと思えますか。 ・それでは、今回のグループ・ディスカッション話し合いの終結を意識して質問ができるようにしましょう。 ・学習のまとめを書きましょう。 ・今日の振り返りを発表しましょう。 ・次回は、グループ・ディスカッションを通して今回分かったことを実践し、さらに話し合う力を高めていきましょう。 	<p>◇前時のグループ・ディスカッションを振り返る。 ・それぞれが一方的に話しているだけだった。 ・何をどのように質問すればよいかわからない。 ・時間内に話し合いがまとまらない。</p> <p>◇課題設定 誰もが納得する結論に導くためにはどのような質問をするとよいのだろうか。</p> <p>◇映像を見て、どのような質問ができそうか話し合う。 前時の議題「グリーン活動で育てた花をどう活用するか」 意見①「咲き終わったマリーゴールドの種を地域の人に配る」 意見②「しおりを作って学級のみんなに配布する」</p> <p>【方法に着目した考え】 ・種を地域の人に配布するという意見があったが、どんな場面で、どのような人に配るのかをはっきりさせた方がよい。 ・多く収穫できる種とは違って三十枚近くのしおりを作るための、花をどうやって準備するのか。 ・知識発展部員と連携した場合、しおりは実際にどれだけの枚数が必要になるのか。</p> <p>【利点や問題点に着目した考え】 ・種を配るには人が集まる場所を吟味する必要があるのではないか。 ・配る人が限定されている、しおりを作るといふ案はともいいたいと思う。知識発展部員と連携して読書量を増やすことにならなければならないか。 ・しおりを作るには花の咲いている時期でなくては押し花ができない。時期的に知識発展部員との連携はいつぐらいを想定しているのか。</p> <p>◎質問することのよさを踏まえて、質問をする上で大切なことを考える。 ・質問することでそれぞれの案がより具体的になる。 それぞれ意見の詳細を聞き出し、より具体的な意見にして報告できるようにすることが大切。</p> <p>◇グループ・ディスカッションを行い、方法と利点や問題点に着目した質問を実践する。 議題「図書館の利用を増やすには」 ◇グループの中で話し合われたことについて報告し合う。</p> <p>報告会の仕方 ①グループで出た案 ②それぞれの利点と問題点 ③②を踏まえてグループとしての結論</p> <p>◇学習のまとめと振り返り 前回のグループ・ディスカッションではなかなか話し合いがまとまらなかったけど、報告会で報告する内容を意識しながら質問することで、それぞれの案がより具体的にになり、グループの結論につなげることができた。今回学んだことは帰りの会の話し合いなどでも生かせると思う。話し合う目的に合わせて質問も工夫していきたい。</p>	<p>・前回の授業を振り返り、本時の課題を明らかにする。</p> <p>・前時のグループ・ディスカッションの意見を出し合う場面を見せ、そこからどのような質問ができそうかを考えさせる。</p> <p>・方法と利点や問題点に視点を置き、報告会につながるように質問することを意識させる。</p> <p>《机間指導》 ・前時の振り返りや姿で質問に不安を感じていた子供を中心に回り、必要に応じてヒントカードを活用する。</p> <p>【評価規準】 ・報告会で発表する方法と利点や問題点について質問することができている。(発言・ノートの記述)</p> <p>【手立て】 ・話し合いの中で質問の内容に不安を感じている子供には、「いつ、だが、どのように」という方法を詳しく聞いた後、利点や問題点について詳しく聞いたための話型を示したヒントカードを用意する。</p> <p>・次の時間の見通しをもたせる。</p>